

1-1 V-ing の識別—動名詞

(1) 正解②・⑤・⑦・⑧

解説:② collecting は be 動詞の後で補語、⑤ talking は enjoys の目的語、⑦ Learning は文の主語、⑧ studying は前置詞 in の目的語となる動名詞である。① waiting と⑥ sleeping は名詞を修飾する現在分詞、③ Walking は分詞構文である。

2 動名詞の基本用法

2-1 主語になる動名詞

(2) 正解③:両親の世話をすることは、子どもの務めの一つである。

解説:文全体の主語として「両親の世話をすること」を表すため、動名詞 Taking を用いる。take care of A は「Aの世話をする」の意味。

(3) 正解④:列車に乗ろうとして急ぐことは危険な場合がある。

解説:「列車に乗ろうとして急ぐこと」が文の主語なので、動名詞 Rushing が必要。rush to do は「急いで～する」の意味で、Rushing to catch a train となる。

2-2 目的語になる動名詞

(4) 正解②:私の兄は自由時間に SF 小説を読むことを楽しんでいる。

解説:enjoy は目的語に動名詞をとるため、reading を用いる。enjoy doing「～することを楽しむ」の形。

(5) 正解③:彼女は十分な情報を得るまで、その問題について話すことを避けた。

解説:avoid は目的語に動名詞をとるため、talking を用いる。avoid doing「～することを避ける」の形。

2-3 補語になる動名詞

(6) 正解②:放課後の私の好きな活動は、公園で友達とテニスをするということである。

解説:be 動詞 is の後ろで主語 My favorite activity の内容を説明する補語が必要なので、playing tennis を用いる。

(7) 正解③:病院での彼の主な責任の一つは、高齢の患者の世話をすることである。

解説:is の後ろで主語の内容を説明する補語として、動名詞 caring を用いる。care for A「Aの世話をする」の意味。

2-4 前置詞の目的語になる動名詞

(8) 正解③:多くの点で、オートバイに乗ることは車を運転することとはかなり異なる。

解説:from は前置詞なので、その後ろには動名詞 driving を置く。be different from A「Aとは異なる」の形。

(9) 正解①:もっと運動をすることで、健康を改善することができる。

解説:by は前置詞なので、その後ろには動名詞 doing を置く。by doing「～することによって」の意味。

(10) 正解③:彼はサッカーをすることが好きである。

解説:of は前置詞なので、その後ろには動名詞 playing を置く。be fond of doing「～することが好きである」の形。

(11) 正解①:彼は誰にも見られずに部屋を出た。

解説:without は前置詞なので後ろには動名詞を置く。また「見られる」という受動の意味なので、being + 過去分詞の being seen とする。

(12) 正解③:彼女はいつも間違いをすることを恐れている。

解説:of は前置詞なので、その後ろには動名詞 making を置く。be afraid of doing「～することを恐れる」の形。

3 動名詞の意味上の主語・完了動名詞・

動名詞の否定

3-1 動名詞の意味上の主語

(13) 正解④:母は私があまりにも怠け者であると不平を言う。

解説:「私が怠け者であること」なので、動名詞 being の意味上の主語として所有格 my を置き、my being とする。complain of doing「～することについて不平を言う」の形。

(14) 正解①:その紳士は私がお金を受け取るよう強く主張した。

解説:insist on の on は前置詞なので、後ろには動名詞を置く。「私が受け取ること」なので、意味上の主語 my を用いて my receiving とする。

(15) 正解③:トムと夕食を食べたとき、私は彼が食事中ずっと携帯電話で話していることに腹を立てた。

解説:「彼が話すこと」なので、動名詞 talking の意味上の主語として所有格 his を置く。get angry at A「Aに腹を立てる」の形。

(16) 正解③:姉は私が自分でその問題を解くよう強く主張した。

解説:insist on doing「～することを主張する」の形。「私が解くこと」なので、意味上の主語 my を用いて on my solving とする。

(17) 正解③:こんな騒がしい街にこんな静かな場所があるとは夢にも思わなかった。

解説:there is を動名詞にすると there being となる。there は動名詞 being の意味上の主語としてそのまま残す。

(18) 正解①:高価な贈り物を彼らが受け取るよう強く求めると、たいていのアメリカ人は居心地が悪くなる。

解説:insist on の後ろには動名詞を置き、

「彼らが受け取ること」なので their accepting とする。their は accepting の意味上の主語。

(19) 正解④:ベティのお母さんは、あなたが毎晩ベティに電話することに不平を言わないのですか。

解説:about は前置詞なので、後ろには動名詞を置く。「あなたが電話すること」なので、意味上の主語を所有格にして your calling とする。

3-2 受動態の動名詞—being done

(20) 正解③:私はそのように扱われることにはまったく慣れていない。

解説:「扱われる」という受動の意味なので、動名詞の受動態 being+過去分詞を用いて being treated とする。

(21) 正解①:合意に達する可能性はほとんどない。

解説:「合意が成立させられる」という受動関係なので、being reached を用いる。of は前置詞なので、その後ろには動名詞が必要。

(22) 正解①:私は彼にそんなことをあのような失礼な態度で言われるのは好きではない。

解説:「私が言われる」という受動の意味なので、being told を用いる。being done は「～されること」を表す。

3-3 動名詞・完了動名詞の否定

(23) 正解④:私は電車でその老婦人に親切にしなかったことを恥じている。

解説:動名詞の否定語 not は動名詞の直前に置く。また過去のことなので完了動名詞を用い、not having been となる。

(24) 正解②:彼は自分の主張をうまく伝えられなかったことを恥じていた。

解説:動名詞 being を否定する not は、

その直前に置いて not being able to do とする。動名詞の否定は not + V-ing が基本。

(25) 正解①: 母親は子どもたちが暗くなってから公園で遊ばないよう強く求めた。

解説: 動名詞 playing の否定なので、not playing とする。基本語順は意味上の主語 + not + V-ing。

3-4 完了動名詞—having + 過去分詞

(26) 正解①: 彼は報告書でそのような不注意な間違いをしたことを謝った。

解説: 「間違いをした」のは「謝った」より前なので、完了動名詞 having + 過去分詞を用いて having made とする。

(27) 正解②: 私は以前の先生にそのような失礼な手紙を書いたことを後悔している。

解説: 「手紙を書いた」のは「後悔している」より前なので、having written を用いる。write の過去分詞は written。

(28) 正解①: 彼女はもっと早く両親に真実を話さなかったことを後悔した。

解説: 完了動名詞 having told を否定するので、not をその前に置いて not having told とする。

3-5 完了動名詞の意味上の主語—A + having done

(29) 正解①: 彼女は息子が最初の挑戦でその難しい試験に合格したことを誇りに思った。

解説: 「息子が合格したこと」なので、意味上の主語 her son の後ろに完了動名詞 having passed を置く。

3-6 受動態の完了動名詞—having been + 過去分詞

(30) 正解①: 彼はそのような若さでチームの主将に選ばれたことを誇りに思った。

解説: 「選ばれた」という受動と、「誇りに思

った」より前という時間関係を表すため、having been + 過去分詞の having been chosen を用いる。

(31) 正解②: 彼女は以前の雇用主から不当に扱われたことについて不満を述べた。

解説: 「扱われた」という受動で、さらに過去の出来事なので、受動態の完了動名詞 having been treated を用いる。

4 that 節と動名詞の書き換え

4-1 be + 形容詞を用いる書き換え

(32) 正解②: 私はあなたに大変な迷惑をかけたことを申し訳なく思っている。

解説: be sorry for doing「～したことを申し訳なく思う」の形。for は前置詞なので、causing を用いる。

(33) 正解①: 彼はそのようなひどいそをついたことを恥じていた。

解説: 「うそをついた」のが「恥じた」より前なので、完了動名詞 having told を用いる。

(34) 正解②: 彼女は息子がその競技会で優勝したことを誇りに思った。

解説: 主節と動名詞の意味上の主語が異なるので her son を残し、さらに過去の出来事なので having won を用いる。

(35) 正解①: 彼女は入学試験に合格しなかったことに失望した。

解説: 「合格しなかった」という過去の出来事なので、否定の完了動名詞 not having passed を用いる。

(36) 正解②: 彼はチームの主将に選ばれたことを誇りに思った。

解説: 「選ばれた」という受動で、さらに過去の出来事なので、having been chosen を用いる。

4-2 that 節を「前置詞 + 動名詞」に書き換える

(37) 正解②:彼は食事代を自分が払うと言い張った。

解説:insist on doing「～すると言い張る」の形なので、on の後ろには動名詞 paying を置く。

(38) 正解①:彼は手伝いに対してお金を一切受け取らないと言い張った。

解説:動名詞 accepting を否定するので、not をその直前に置いて not accepting とする。on+not+V-ing の語順。

(39) 正解③:彼女は不当に扱われたことについて不平を言った。

解説:「扱われた」という受動で、さらに過去の出来事なので、having been treated を用いる。

(40) 正解②:彼は一度も試合に負けたことがないと自慢した。

解説:「一度も負けたことがない」という過去の経験なので、完了動名詞 never having lost を用いる。

4-3 that 節をなくして動名詞に書き換える

(41) 正解①:彼女は若いころに多くの時間を無駄にしたことを後悔している。

解説:regret は目的語に動名詞をとるので、regret wasting「～したことを後悔する」とする。

(42) 正解①:彼は以前どこかでその男性に会ったことを覚えていた。

解説:remember doing「～したことを覚えている」の形なので、meeting を用いる。

(43) 正解③:私はトムが放課後に私のコンピューターを使うことを気にしない。

解説:mind は目的語に動名詞をとる。「Tom が使うこと」なので、Tom using とする。

(44) 正解②:彼女は私たちがもっと早い

列車に乗ることを提案した。

解説:suggest は suggest doing の形をとる。「私たちが乗ること」なので、意味上の主語を所有格にして our taking とする。

(45) 正解③:難しい仕事を手伝ってくれたことに感謝します。

解説:appreciate は目的語に動名詞をとる。「あなたが手伝ったこと」なので、your helping とする。

5 動名詞を用いた「…してもむだだ」の表現

5-1 It is no use [good] doing / What is the use of doing?

(46) 正解①:彼らとこの問題について議論しても意味がない。

解説:It is no use doing=There is no point in doing「～してもむだだ」の書き換え。

(47) 正解①:私をだまそうとしてもむだだ。

解説:It is no use doing「～してもむだだ」の形なので、use を用いる。

(48) 正解①:電話は通じない。電話をしようとしてもむだだ。

解説:There is no use doing「～してもむだだ」の形なので、trying を用いる。

(49) 正解③:彼を説得しようとしてもむだだ。

解説:It is no use doing の形なので、trying を用いる。to persuade は try の目的語。

(50) 正解①:彼は決して考えを変えないので、それについて議論してもむだだ。

解説:It is no use doing「～してもむだだ」の決まった表現なので、use が正しい。

(51) 正解②:誰の話も聞こうとしない彼と議論して何になるのか。

解説:What is the use of doing?「～して何になるのか」の形なので、of arguing を用いる。

5-2 There is no point [sense] (in) doing

(52) 正解③:そのような実りのない議論を続けても意味がない。

解説:There is no point in doing「～しても意味がない」の形なので、point in を用いる。

(53) 正解③:まったく使わないのなら、高価なパソコンを持っても意味がない。

解説:There is no point in doing の形なので、in having を用いる。

(54) 正解③:まったく弾かないのなら、ピアノを持っても意味がない。

解説:There is no point in doing の形なので、in having が正しい。

(55) 正解④:空いている席があるのに立っていても意味がない。

解説:There is no sense in doing「～しても意味がない」の形なので、no sense を用いる。

(56) 正解③:写真撮影は禁止されているので、カメラを持っていっても意味がない。

解説:There is no point in doing が正しい形。It is no point とはしない。

6 to の後に動名詞をとる表現

6-1 look forward to A / doing

(57) 正解④:来週故郷へ帰るので、そのとき友達に会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to doing「～するのを楽しみにする」の to は前置詞なので、to seeing とする。

(58) 正解①:夏休みが近づくにつれて、友達に会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to doing という決

まった表現なので、forward を用いる。

(59) 正解④:またいつかそこへ行くのを本当に楽しみにしている。

解説:look forward to の to は前置詞なので、to going とする。

(60) 正解④:彼はサマセットの小さな別荘で彼女と週末を過ごすことを楽しみにしていた。

解説:look forward to doing の形なので、to spending を用いる。

(61) 正解②:夏休みが近づくにつれて、友達に会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to の to は前置詞なので、to meeting が正しい。

6-2 be used [accustomed] to A / doing

(62) 正解①:私は緊張している。大勢の聴衆に向かって話すことに慣れていない。

解説:be used to doing「～することに慣れている」の to は前置詞なので、to speaking とする。

(63) 正解①:私は夜更かしすることに慣れている。

解説:be accustomed to doing「～することに慣れている」の形なので、accustomed を用いる。

(64) 正解②:彼女は正式な手紙を書くことに慣れていない。

解説:be used to の to は前置詞なので、後ろには動名詞 writing を置く。

(65) 正解④:少し気になるが、しばらくすると暑さにも慣れるものだ。

解説:get used to doing「～することに慣れる」の形なので、to being を用いる。

(66) 正解④:6 時に出発しても構わない。私は早起きに慣れている。

解説:be used to doing「～することに慣

れている」なので、I'm used to getting となる。

6-3 object to A / doing

(67) 正解①:母は私が一人でその山に登ることに反対した。

解説:object to doing「～することに反対する」の形。「私が登る」ので to my climbing とする。

(68) 正解④:誰もその山に登ることに反対しなかった。

解説:object to の to は前置詞なので、後ろには動名詞を置き、to climbing とする。

(69) 正解③:彼女は私が夜遅くまで働くことに反対しなかった。

解説:「私が働くこと」なので、意味上の主語 my を用いて to my working とする。

(70) 正解②:参加者たちは子どものように扱われることに反対した。

解説:「扱われる」という受動なので、being treated を用いる。

(71) 正解②:私はこのように扱われることに強く反対する。

解説:objection to doing「～することへの反対」の to は前置詞。「扱われる」ので to being treated となる。

(72) 正解④:私は彼がこの電話で私用電話をかけることに反対する。

解説:「彼が電話をすること」なので、動名詞の意味上の主語を所有格にして his making とする。

(73) 正解①:私はそのように扱われることに反対する。

解説:object to doing の形で、「扱われる」という受動なので to being treated とする。

6-4 when it comes to A / doing

(74) 正解③:私はコンピューターを使え

るが、修理となると何も知らない。

解説:when it comes to doing「～することとなると」の to は前置詞なので、to repairing とする。

(75) 正解④:走ることとなると、ジョンは間違いなくクラスで一番だ。

解説:when it comes to の to は前置詞なので、to running とする。

(76) 正解③:家を買うこととなると、誰もが非常に慎重になる。

解説:when it comes to doing の形なので、to buying houses を用いる。

(77) 正解②:中華料理を作ることとなると、夫は専門家だ。

解説:when it comes to の to は前置詞なので、to cooking とする。

6-5 What do you say to A / doing?

(78) 正解④:日曜日にテニスをするのはどうですか。

解説:What do you say to doing?「～するのはどうですか」の to は前置詞なので、to playing とする。

(79) 正解④:休憩するのはどうですか。

解説:What do you say to の to は前置詞なので、to having とする。

(80) 正解③:コーヒーを一杯飲むのはどうですか。

解説:What do you say to doing? の形なので、to having を用いる。

6-6 devote / dedicate / commit A to V-ing

(81) 正解④:彼らの時間の大部分は、おそらく食料を集めることに費やされた。

解説:devote A to doing「A を～することにささげる」の to は前置詞なので、collecting を用いる。

(82) 正解④:彼女は視覚障害者を助ける

ことに人生をささげてきた。

解説:devote A to doing の形なので、to の後ろには動名詞 helping を置く。

(83) 正解②:彼女は人生の多くを子どもの権利を守ることにささげた。

解説:dedicate A to doing「A を～することにささげる」の形なので、protecting を用いる。

(84) 正解②:その研究チームは大気汚染を減らすよりよい方法を見つけることに専念している。

解説:be dedicated to doing「～することに専念している」の to は前置詞なので、finding を用いる。

(85) 正解③:その会社はより環境に優しい製品の開発に多くの時間と資金を投入してきた。

解説:commit A to doing「A を～することに投入する」の形なので、developing を用いる。

(86) 正解②:その大学はすべての学生に平等な教育機会を提供することに力を注いでいる。

解説:be committed to doing「～することに尽力している」の to は前置詞なので、providing を用いる。

7 省略可能なinの後に動名詞をとる表現
7-1 have difficulty [trouble] (in) doing

(87) 正解②:私はある生徒と別の生徒を見分けるのに少し苦労した。

解説:have difficulty (in) doing「～するのに苦労する」の形なので、in telling を用いる。

(88) 正解②:私たちは彼の新しい家を見つけるのにとても苦労した。

解説:have difficulty の後ろには動名詞

を置き、difficulty trying to find とする。in は省略できる。

(89) 正解③:人々はしばしば私の筆跡を読むのにとても苦労する。

解説:have trouble (in) doing「～するのに苦労する」の形なので、trouble reading となる。

(90) 正解①:最初、私は人々が速く話すと理解するのに苦労した。

解説:have difficulty (in) doing の形なので、in understanding を用いる。

(91) 正解③:リンダは16歳だったが、20歳で通すのに苦労しなかった。

解説:have no trouble doing「難なく～する」の形なので、passing を用いる。

7-2 be busy (in) doing

(92) 正解③:ロビンソン夫人は台所で娘が料理するのを手伝うのに忙しかった。

解説:be busy (in) doing「～するのに忙しい」の形なので、helping を用いる。

(93) 正解③:私は次の試験の準備で忙しい。

解説:be busy の後ろには動名詞を置き、busy preparing とする。

(94) 正解①:彼らは宿題をするのにとても忙しいですね。

解説:be busy doing の形なので、doing を用いる。

(95) 正解②:高校生たちは試験の準備で忙しい。

解説:be busy doing なので preparing を用い、prepare は自動詞として prepare for A「Aに備える」とする。

(96) 正解④:宇宙はまだ若い、理論家たちはその最終的な運命を探究するのに忙しい。

解説:be busy doing の形なので、

exploring を用いる。

(97) 正解①:彼女の母親は夕食を作るのに忙しかった。

解説:be busy doing「～するのに忙しい」の形なので、cooking を用いる。

7-3 spend / waste A (in) doing

(98) 正解②:私は今晚の残りを勉強して過ごすべきだが、好きなテレビ番組を見たい。

解説:spend + 時間 + doing「～して時間を過ごす」の形なので、studying を用いる。

(99) 正解②:変えられないことを心配して時間を無駄にしてはいけない。

解説:waste + 時間 + doing「～して時間を無駄にする」の形なので、worrying を用いる。

8 前置詞 + 動名詞

8-1 on doing「～するとすぐに／～する際に」

(100) 正解②:駅に着くとすぐに、私は彼を見つけることができた。

解説:on doing「～するとすぐに」を用いる。As soon as I arrived ～を On arriving ～に書き換えられる。

(101) 正解③:警察官を見るとすぐに、彼は逃げようとした。

解説:as soon as S + V = on doing の書き換えなので、On seeing とする。

(102) 正解①:その知らせを聞くと、彼女は静かにほほえんだ。

解説:on hearing the news「その知らせを聞くとすぐに」の形が正しい。

(103) 正解②:そのドアに着くと、少年はそれを強くノックした。

解説:on doing「～するとすぐに」の形なので、On arriving at the door とする。

8-2 in doing / by doing

(104) 正解④:決断をしようとする際には、適切な優先順位の感覚を保つことが重要である。

解説:in doing「～する際に／～する過程で」の形なので、In trying を用いる。

(105) 正解②:毎日英語を使うことによって、英語力を向上させることができる。

解説:手段を表す by doing「～することによって」を用いる。

(106) 正解③:材料を捨てずに再利用することで、ごみの量を減らすことができる。

解説:手段・方法を表す by doing「～することによって」なので、by reusing とする。

8-3 without doing「～することなしに」

(107) 正解②:彼は誰にも別れを告げずに部屋を出た。

解説:without doing「～せずに」の形なので、without saying とする。

(108) 正解②:父はすべての窓が閉まっていることを確認せずに外出することは決していない。

解説:without doing「～することなしに」の形なので、without checking を用いる。

8-4 for doing「～したことで」

(109) 正解②:私は難しい課題を手伝ってくれたことについて彼女に感謝した。

解説:thank A for doing「～してくれたことで A に感謝する」の形なので、for helping を用いる。

(110) 正解①:その生徒は試験中にスマートフォンを使ったことで罰せられた。

解説:be punished for doing「～したことで罰せられる」の形なので、for using を用いる。

8-5 from doing「～することから」

(111) 正解②:すべての乗客は飛行中、携帯電話の使用を控えるよう求められている。
解説:refrain from doing「～することを控える」の形なので、from using を用いる。

(112) 正解①:大雨のため、私たちは予定どおり野球の試合をすることができなかった。

解説:keep A from doing「Aが～するのを妨げる」の形なので、from playing を用いる。

8-6 instead of doing「～する代わりに」

(113) 正解③:自分の失敗について不平を言う代わりに、彼はそこから学ぼうとした。
解説:instead of の of は前置詞なので、後ろには動名詞 complaining を置く。

(114) 正解②:彼は翌日の重要な試験の勉強をせずに、テレビを見て夜を過ごした。
解説:instead of doing「～する代わりに／～しないで」の形なので、instead of を用いる。

9 動名詞を用いた慣用表現

9-1 There is no doing

(115) 正解②:明日私たちに何が起こるかは分からない。

解説:There is no telling ～「～は分からない」という決まった表現なので、no telling を用いる。

(116) 正解③:いつ地震が起こるかは分からない。

解説:It is impossible to tell ～は、There is no telling ～で書き換えられる。

(117) 正解②:ジョンがいつ現れるかは分からない。

解説:There is no doing「～することはできない」の形で、no telling は「分からない」の意味。

(118) 正解①:将来何が起こるかは分からない。

解説:There is no telling ～「～は分からない」という慣用表現を用いる。

(119) 正解③:彼らのけんかがどれくらい続くかは分からない。

解説:There is no telling ～の形なので、文頭には There を置く。

9-2 It goes without saying that S V

(120) 正解②:空腹は最高の調味料であることは言うまでもない。

解説:It goes without saying that S + V「～は言うまでもない」という決まった表現。

(121) 正解①:ここは病院なので、ペットが許可されていないことは言うまでもない。

解説:It goes without saying that S + V「～は言うまでもない」が文意に合う。

9-3 feel like doing

(122) 正解③:彼女は彼を泣きたい気分にするつもりではなかった。

解説:feel like doing「～したい気がする」の形なので、crying を用いる。

(123) 正解①:ドライブに行きたい気分です。

解説:feel like doing の形なので、going を用いる。go for a drive は「ドライブに行く」。

(124) 正解④:今夜は早く寝たい気分だ。

解説:feel like doing「～したい気がする」なので、going を用いる。

(125) 正解④:少し頭痛がするので、今夜は外出する気がしない。

解説:feel like doing という決まった表現なので、feel を用いる。

9-4 far from doing

(126) 正解③:その新政策は問題を解決するどころか、実際にはさらに複雑にした。

解説:far from doing「～するどころか／決して～ではない」の形なので、from を用いる。

(127) 正解②:彼の説明は聴衆全員を満足させるにはほど遠かった。

解説:far from の from は前置詞なので、後ろには動名詞 satisfying を置く。

9-5 rather than doing

(128) 正解①:問題について不平を言うより、実地的な解決策を見つけることに集中すべきだ。

解説:rather than doing「～するよりむしろ」の形なので、complaining を用いる。

(129) 正解①:政府は増大する問題に真剣に取り組むよりも、国民の懸念を無視し続けた。

解説:rather than の後ろに動名詞を置き、addressing the problem「問題に取り組むこと」とする。

9-6 in the event of A / doing

(130) 正解①:ジムが来ない場合には、ほかの人を探さなければならない。

解説:of は前置詞なので動名詞を用い、「Jim が来ないこと」は Jim not coming とする。

9-7 worth doing

(131) 正解②:この小説は読む価値がある。

解説:be worth doing「～する価値がある」の形なので、reading を用いる。= It is worthwhile to read this novel.

(132) 正解②:この交響曲は本当の傑作だ。何度も繰り返して聴く価値があると思う。

解説:be worth doing の形なので、listening to を用いる。= It is worthwhile to listen to this symphony over and over again.

(133) 正解③:そのプロジェクトの推定費用を検討する価値がある。

解説:It is worth doing「～する価値がある」の形なので、considering を用いる。= It is worthwhile to consider ~.

9-8 come near doing

(134) 正解③:彼女は母親を見て、危うく泣きそうになった。

解説:come near (to) doing「もう少しで～するところである」の形なので、crying を用いる。

(135) 正解①:ジョンは昨夜、危うくトラックにひかれるところだった。

解説:「ひかれる」という受動なので、come near being done の形で being run over とする。

9-9 come close to doing

(136) 正解②:その登山者は突然の吹雪で危うく命を失うところだった。

解説:come close to doing「もう少しで～するところである」の to は前置詞なので、losing を用いる。

(137) 正解①:その会社は最大の顧客を失った後、危うく倒産するところだった。

解説:come close to の to は前置詞なので、to going bankrupt とする。

9-10 How about / What about + V-ing

(138) 正解①:歩く代わりに駅までタクシーに乗るのはどうですか。

解説:How about doing?「～するのはどうですか」の形なので、about taking を用いる。

(139) 正解③:決断する前に、その問題について先生と話し合うのはどうですか。

解説:What about doing?「～するのはどうですか」の形なので、about discussing を用いる。

(140) 正解①:最終決定をする前に、しばらく待つのはどうですか。

解説:How about doing?の形なので、about waiting を用いる。

(141) 正解③:大学を選ぶ前に、両親に助言を求めるのはどうですか。

解説:What about doing?の形なので、about asking を用いる。

10 V+動名詞

10-1 need doing「～される必要がある」

(142) 正解②:仕事着は洗う必要があるが、今は洗濯をする時間がない。

解説:need doing「～される必要がある」=need to be done なので、washing を用いる。

(143) 正解③:エンジンの調子がおかしい。修理する必要があると思う。

解説:need doing=need to be done なので、needs repairing を用いる。

10-2 want doing「～される必要がある」

(144) 正解②:台所の床は、今晚客が来る前に掃除する必要がある。

解説:want doing「～される必要がある」=want to be done なので、cleaning を用いる。

(145) 正解④:この古い時計は、再び使えるようになる前に修理する必要がある。

解説:want doing=want to be done なので、repairing を用いる。

10-3 deserve doing「～される価値がある」

(146) 正解②:彼の提案は、最終決定を

する前にもっと慎重に検討する価値がある。

解説:deserve doing「～される価値がある」の形なので、considering を用いる。doing の形でも意味は受動になる。

(147) 正解③:この問題は地域社会の全員に影響するので、より詳しく議論する価値がある。

解説:deserve doing「～される価値がある」の形なので、discussing を用いる。

11 動名詞と不定詞・類似表現の識別

11-1 be used to V-ing / be used to V / used to V

(148) 正解②:彼女は最初、都会生活を難しいと感じたが、今では混雑した地域で暮らすことに慣れている。

解説:be used to doing「～することに慣れている」のtoは前置詞なので、to living とする。

(149) 正解③:この小さな装置は、タンク内の水の量を測るために使われる。

解説:be used to do「～するために使われる」のtoは不定詞なので、to measure を用いる。

(150) 正解②:祖父は若いころ、毎朝歩いて仕事に行ったものだった。

解説:used to do「以前はよく～した」の形なので、to walk を用いる。

(151) 正解③:すでに起こったことを心配してもむだだ。

解説:There is no use doing「～してもむだだ」の形なので、worrying を用いる。

11-2 like V-ing / like to V / feel like V-ing

(152) 正解②:私の姉は寝る前に英語で小説を読むのが好きだ。

解説:like は like to do「～するのが好きだ」の形をとることができるので、to read

を用いる。

(153) 正解③:水泳やジョギングのような活動は、健康を保つよい方法である。

解説:ここで like は前置詞「~のような」なので、後ろには名詞相当の動名詞 swimming を置く。

(154) 正解③:かなり疲れているので、今夜は外出する気がしない。

解説:feel like doing「~したい気がする」の形なので、going を用いる。